

■ 国際バルク戦略港湾「釧路港」第1船入港！ ～水深14m岸壁供用開始～

釧路市 水産港湾空港部

国際バルク戦略港湾「釧路港」として整備してきた水深14m岸壁が供用開始し、民間埠頭運営が開始され、北米西海岸に位置するシアトル港から第1船として飼料原料のトウモロコシを積んだカムサマックス船が、釧路港をファーストポートとして初入港しました。

平成31年4月9日、第1船入港に合わせ、埠頭運営事業者である釧路西港開発埠頭㈱(鈴木社長)の主催による歓迎セレモニーが開催され、主催者より船長へ花束を贈呈したほか、釧路港港湾管理者である蝦名釧路市長より記念品が贈呈されました。

本船は、この後、新たに設置した機械式アンローダー(800t/h)を用いて、25,000tのトウモロコシを5日間かけて荷揚げし、釧路港西港区第2埠頭に立地している各社のサイロに貯蔵しました。

今後も穀物原料を輸送するパナマックス船の入港が予定されており、これまで課題とされてきた大型船舶の対応が可能となり、釧路港を拠点とした穀物の安定的かつ効率的な輸送体制が構築されることで、物流コストが低減するなど、その効果はひがし北海道のみならず、全国へと広く波及するものと考えております。



歓迎セレモニー記念撮影状況



主催者からの花束贈呈



第1船(MANOUSOS P)入港